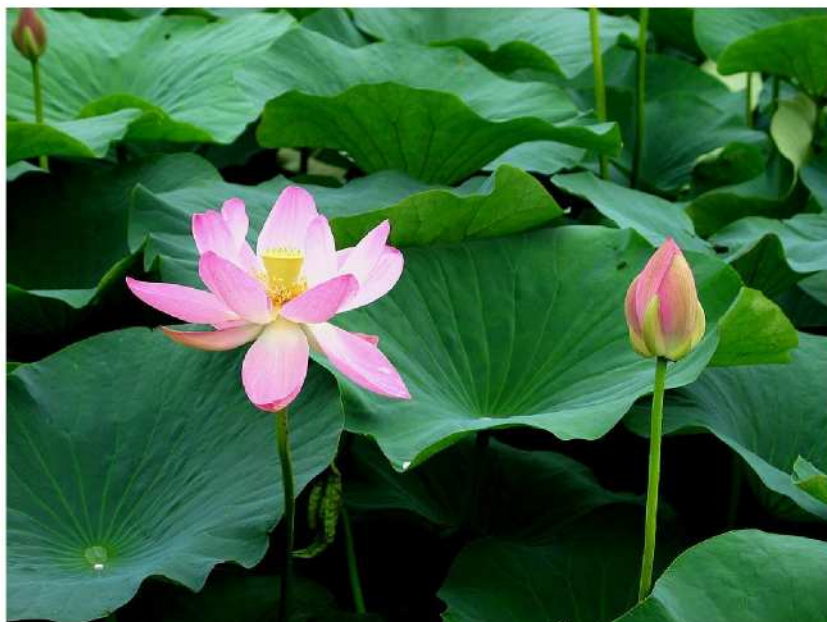


ビブリア

目次:

巻頭言	2
教職員が勧める本	3
図書館利用状況	9
先輩から勧める本	10
私のお薦め本2冊	12
お知らせなど	14



お知らせ

図書館内のアスベストを含む建築材の撤去工事を夏休み期間に行うことになりました。

天井、床などを工事するため作業期間中は閉館しなければなりません。

皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご了承下さい。

よろしく申し上げます。

閉館期間 8/5 - 9/25



巻頭言

創造性とは知識のデータベースを基に集中して考えること

図書館長 永井康友

本校の教育理念に「創造性及び実践性の育成」と書いてある。実践性の方は分かり易いが、創造性とは具体的に何を指すのか、学生にとっても教員にとっても分からない人が多いのではないだろうか。「創造性」の定義には人によっていろいろあるが、とにかく“自分で考える”ことが基本である。“自分のアイデアで新しいモノをつくる”などは典型的な創造的仕事であるが、モノづくりだけがその対象ではない。作文やレポートをまとめるのも立派な創造的仕事である。

会社においても新製品開発・新技術開発だけが創造的仕事でない。会社が現場技術者に求める創造性とは、応用問題を解決する力である。工場ではいつ何が起こるか分からない。機械が急に止まったり、不良品が出たりする。早く正常に戻さないと会社は大きな損害をこうむってしまう。こんなときに現場技術者の創造性が問われる。自分の専門知識を基に頭をフル回転させ、原因は何か、対策をどうすればよいかを必死に考えるのである。正解があるかどうか分からないが、とにかく何か手を打たなければならない。こういういざという時に力を発揮してくれる技術者を会社は求めている。

応用問題を解決するためには、その問題に関連する専門知識がなくては考えようにも考えられない。すなわち知識のデータベースが必要である。学生時代はそのデータベースを増やすためにそれぞれの専門学科で一生懸命勉強している訳である。頭の柔軟な若い時にできるだけ多くの知識や考え方を学び・習得し、データベースを構築しなければならない。

創造性の素質は誰にでも備わっている。そして、学校を卒業する頃にはある程度のデータベースも蓄積されている。従って、創造性を発揮できるかできないかは、残りの必要条件つまり、考えるか考えないかで決まる。ただし、普通程度の考えではダメである。必死に考えるのである。普段は20～30%しか脳を使っていないが必死に考えると50～60%は使われ、すばらしいアイデアが出る可能性が高くなる。

この「集中して考える」ことこそが創造性発揮の源である。

(機械工学科教授)



20歳のころ

金子研一（建設環境工学科 教授）

私は20歳の頃、札幌で下宿をしていました。4年間だけという意識から、何も持たない生活をしていました。石油ストーブはあるものの、仕送りを有効に使うために、下宿では灯をつけずに布団にくるまっていました。というより、1週間ももたない重い一斗缶を5分も運搬するのが面倒だったのです。そこで、下宿は寝るだけの場所、勉強は暖房のきいた図書館でと割り切ることになりました。

下宿にはテレビも冷蔵庫もないため、必然的に布団の中は読書の時間になります。学生運動が下火になった頃でしたが、本を読んでいないと仲間との会話に入れないため高橋和巳、辻邦生、安部公房など買い求めました。読みたいからというよりは、読まなくてはいけないという義務感です。装丁の立派な吉本隆明の本は本棚を飾っておくだけで、いまだに読み終えていません。

私が好んで読んだのは作家が青春を描いた自伝的な作品です。北杜夫の「ドクトルマンボウ青春期」、井上ひさしの「青葉繁れる」、井上靖の「しろばんば」、「夏草冬濤」、「北の海」、時代はさかのぼりますが尾崎士郎の「人生劇場」などです。ちょうど、自分の青春に重ね合わせて、人生や恋の悩みを共感したものでした。

不思議なもので、一人の作家を知ると同じ作家の本を漁るようになります。北杜夫のドクトルマンボウシリーズは漫画を読むより痛快なのですが、同じのりで読むはずだった「夜と霧の隅で」は、あまりの重々しさに背筋を伸ばして読むことになりました。同じように、遠藤周作もユーモアにあふれた狐狸庵先生から読み始めたのですが、「沈黙」、「海と毒薬」に至ると、信仰とは何か、神とは何かという問題に直面させられました。若い時に宗教に興味がある人は少ないと思います。夏休みの宿題で課題図書を与えられても、読まされているという気がして、深く読むことができません。ところが大人になると、いろいろな場面で宗教に頼りたくなることがあります。数年前、このような思いで読んだ本に「梅原猛の授業 仏教」があります。作者が君たちと同じ年代の学生に対して講義したもので、わかりやすく書いてあります。妙に納得して、癒される部分がありました。気軽に読めるので、入院した人にお見舞いとして差し上げることがあります。

梅原 猛 梅原猛の授業 仏教 朝日新聞社 2002/01) ASIN: 402257710X

井上 靖

しろばんば(文庫) 新潮社; (1965/03)ASIN: 4101063125

夏草冬濤(文庫) 新潮社 上 ASIN: 4101063338 下 ASIN: 4101063389

北の海 (文庫) 新潮社 上 ASIN: 4101063370 下 ASIN: 4101063389

尾崎 士郎 人生劇場 青春篇 など(文庫) 新潮社 ASIN: 4101029156

井上 ひさし 青葉繁れる (文庫) 文芸春秋 ASIN: 4167111012

北 杜夫

夜と霧の隅で (文庫) 新潮社 ASIN: 4101131015

どくどくマンボウ航海記 (文庫) 新潮社 ASIN: 4101131031

遠藤 周作

沈黙 (文庫) 新潮社 ASIN: 4101123152

海と毒薬 (文庫) 新潮社 ASIN: 4101123020



お勧めしたい本

田代 均 (コミュニケーション情報学科教授)

高度情報化社会で情報量がものすごく増え、読書離れが進んでいると言われている(漫画を除く)。グローバル化が進み激化している国際競争を勝ち抜くために視野の広い創造性に富んだ人材が求められている。しかし、基礎学力が無ければ創造性は発揮できない。読書により文章力が磨かれ、読んだ内容に関して自分なりに考えることにより読解力が育成される。読解力は全ての学習活動の基礎である。

以下にお勧めしたい5冊を紹介する。考えること、イノベーション、戦略の重要性に関する本で少しかたい内容ではあるが、読書に関心を持つきっかけにでもなれば幸いである。

1. 「いま「ゼロ戦」の読み方」、日下公人、三野正洋、ワック出版部、1998年
ソフトの格差が勝敗を分ける。第二次世界大戦で活躍した戦闘機の「ゼロ戦」を様々な角度から考察している。1つのテーマについて見方や切り口によって「ああも言える」、「こうも言える」と考えることの有用性を述べている。視野を広く持つことの重要性がよくわかる。

2. 「ものを考える人 考えない人」、渡部昇一、三笠書房、1999年
自分の関心を広く豊かに持ち続け、自分の心の声に耳を澄まし、きちんとものを考えながら生きる「知的生活の方法」に関するものである。「頭の知能指数」より考えることの重要性を述べている。

3. 「痛快！ローマ学」、塩野七生、集英社インターナショナル、2002年

塩野七生は「ローマ人の物語」(新潮社)で有名だが、この本は古代ローマ帝国をわかりやすく解説しているので読みやすい。「ローマは一日にしてならず」、さまざま試練と困難を乗り越えて成功を勝ち取ったローマ人の生き方は参考になる。

4. 「イノベーションの本質」、野中郁次郎、勝見明、日経BP社、2005年

数え切れないほど登場する新商品、サービスも市場に受け入れられて高い評価を得るのはほんの一握りである。それらがヒットしたのは多くの場合、開発のコンセプト、技術、プロセスなどにおいて何らかのイノベーションが実現されていたからであると分析している。

創造性の重要性がよくわかる。

5. 「戦略の本質」、野中郁次郎他、日本経済新聞社、2005年

1920～1980年頃の6つの戦史を通して戦略の重要性を分析している。有利な状況では戦略は大勢に影響を与えないが、圧倒的に不利な状況で逆転を成し遂げるときに戦略の本質が最も顕在化する。戦略の重要性がよくわかる。

- | | | |
|---|---------------|------------------|
| 1 | いま「ゼロ戦」の読み方 | ISBN 489831-0036 |
| 2 | ものを考える人 考えない人 | ASIN: 4837917860 |
| 3 | 痛快！ローマ学 | ASIN: 4797670673 |
| 4 | 「イノベーションの本質」 | ASIN: 4822244067 |
| 5 | 「戦略の本質」 | ASIN: 4532165296 |



印象深い本：「古池に蛙は飛びこんだか」

細川 勉 (事務部長)

「本校図書館の蔵書で印象に残った書物は何?」、と問われたら躊躇なく長谷川權氏の「古池に蛙は飛びこんだか」をあげます。

この本はかの有名な芭蕉の「古池や蛙飛かはつとびこむ水のおと」。古池に蛙が飛びこんで水の音がした、それでどうしたの? しかしそう解釈するとおかしな問題がいくつか出てくる。そこから著者の謎解きストーリーが始まります。私など、やはり名句なのだろうなと疑問も挟まず今日まで過ごしてきました。しかしながら、多くの識者の間では侃々諤々の論争があったようです。正岡子規は「古池の句の意義は一句の表面に現れまたただけの意義にして、復他に意義なる者無し。(古池の句の弁)」と断を下したとのことです。

著者は、①「古池や」といい「水のおと」といい同じ古池の水を2度だしている。同じことを繰り返すのは言葉の無駄。②「古池に」ではなく「古池や」の「や」の切字を使った意味、などを上げ次のように展開します。

一点目。まず「蛙飛こむ水のおと」が先にでき、上五は其角がすすめた「山吹や」を採用せず「古池や」を置いた。これは、芭蕉は古池と、蛙が飛びこんだ水は別々のものであると思っていたからこそ重複など気にせずに「古池や」とした。

二点目。芭蕉は切字の使い方に最も意を注ぎ、かつ最も卓抜した俳諧師であったこと。芭蕉は明確に「切字を入れるは句を切るため也」と語っていることからして、「古池や」とした以上、句はそこで切れなければならない。すると、まず古池がある。次ぎにどこからともなく蛙が水に飛びこむ音が聞こえてくる。上五と中下の間には間がある、と記します。

著者は、これらを踏まえ「蛙が水に飛びこむ音を聞いて心の中に古池の幻が浮かんだ」と解釈し、この現実のただ中に心の世界を開いたことこそ蕉風開眼と呼ばれる所以であると論を進めます。

この蕉風開眼の句以降「さまさまの事おもひ出す桜かな」「夏草や兵つはものどもが夢の跡」「閑しづかさや岩いりせみにしみ入蟬やむかりの声」「病廬おちの夜さむかなに落おちて旅かなね哉」そして死を前にした「旅やんに病かれので夢は枯野めぐをかけ廻る」まで、ことごとく古池の句と同様に現実の中に心の世界を開く句であると締めくくります。

どうでしょう、著者の解釈を是とするか否とするのか。私の拙い紹介文よりも是非本校図書館での一読をお勧めします。

「古池に蛙は飛びこんだか」
長谷川權 花神社
ISBN:4-7602-1807-6 C0095

長谷川權
古池に蛙は
飛びこんだか



おすすめの「研究に関するむずかしくない本」

羽切正英 (物質工学科助手)

高専に入学して理系学生としての生活を送っている皆さんは、高専や大学の研究室に入って研究をする自分の姿を一度は想像したことがあるかと思います。また、多くの学生さんは研究や研究室に興味はあっても、実際どんなものなのか分からないのではないのでしょうか。そんな方にお勧めしたい「研究」に関する本を何冊か紹介したいと思います。こんな拙い文章を書いている私でさえも読み終えられた本ですので、決して堅い本ではありませんからご安心あれ。

一冊目は本というよりもムックに区分されるもので、図書館から紹介するには俗っぽくて少し不適當かなとも思いますが、面白いので紹介しておきます。この本は、研究者とはどんな人たちなのか、どんな生活をしているのか、などが知りたい方におすすめします。

「別冊宝島137 研究する人生

—「理系」の彼らは何をしているのか?—

石井慎二編, 宝島社

この本には、企業や大学で様々な分野の研究にたずさわる研究者達の、研究に全てをかけた生き様から、日々の生活まで色々なエピソードがまとめられています。紹介されているのは極端な例(つまり大成功や大失敗した人や、ヘンな人の例)が多いのですが、それは一般向けに書かれた本なので仕方ないでしょう。裏を返すと誰にでも読みやすくできている、とも言えると思います。ちなみに、刺身に練りわさびをつけながら、食べ物ではなくシクロデキストリンの話題に盛り上がる化学屋の話には、私も思わずう

なずいてしまいました。

二冊目の本は、研究はどう進めたらいいのか、研究室ではどう過ごすべきなのか、などが知りたい方に勧めます。

「研究室へようこそ!—どこにも書かれていないバイオ研究室の実態—」

野村慎太郎著, 羊土社

この本には、研究室での過ごし方から、研究の進め方、進路に対するアドバイス…などなど、研究する上で必要な事がたくさん書かれています。ちょっと大げさなタイトルはついていますが、たしかにこれほど研究室での生活のことを事細かに書いてある本は無いのではと思います。バイオ系の先生が書かれた本ですので、例などはその分野にかたよってはいますが、それを除いてもかなり参考になる本です。大学に編入や、専攻科への進学を考えている方には是非おすすめです。



最後に、化学の実験に携わっている学生さんに読んでもらいたい本を一冊紹介します。

「実験室の笑える? 笑えない! 事故実例集」

田中陵二, 松本英之著,

講談社サイエンティフィク

この本は、口コミやweb上の掲示板など(主にYahoo!掲示板)から集めた化学実験の事故例を挙げて、それぞれの例に有機合成を専門と

する先生方が詳細なコメントを書いて本にしたものです。授業での実験や卒業研究を経験した皆さんなら「あ〜、やったことあるな、そういう失敗…」と頷ける事故や操作ミスの実例を挙げながら、その笑えない危険性や、ミスへの細かい対処法などを対話形式で紹介しています。堅いイメージの実験の安全に関する書籍(もちろんこれも重要ですよ!)と違って、とても読みやすい本ですので、まるで掲示板やblogを読んでいる感覚で読みきれてしまいます。分かっているけど実験ミスや事故は起こってしまうものですが、この本を読んでいけば失敗はきっと減らせると思いますよ。

以上、私が高専で研究を始めて以来、いくつか研究にまつわる本を読んだ中で興味深かったものと役に立ったものを挙げてみました。皆さんの読書の参考にして頂ければ幸いです。



「別冊宝島137 研究する人生

村上 陽一郎 宝島社 ASIN: 4796691375

(この本は現在、入手困難な状態、読みたい人は羽切先生の研究室を訪問ください。

研究室へようこそ!

野村 慎太郎 羊土社 ASIN: 4897066743

実験室の笑える?笑えない!事故実例集

田中 陵二 講談社 ASIN: 4061533975

理科系の男に期待します。 大田垣 晴子

リクルート ASIN: 488991398X

平成17年度学生利用冊数ベスト20冊

順位	貸出回数	書名	著者	出版者
1位	14	ZOO	乙一	集英社
	"	ダーリンは外国人 2	小栗左多里	メディアファクトリー
3位	13	死ぬかと思った [1]	林雄司	アスペクト
4位	12	ヒロシです。	ヒロシ	扶桑社
	"	Goth (ゴス) リストカット事件	乙一	角川書店
	"	TOEICテスト対策よくわかる英文法	松岡昇	アルク
	"	頭がいい人、悪い人の話し方 PHP新書	樋口裕一	PHP研究所
	"	蛇にピアス	金原ひとみ	集英社
	"	天使の梯子	村山由佳	集英社
	"	ラボマニュアルPCR 研究と臨床診断への応用	A.Rolfs [[ほか]	宝酒造
	"	ラボマニュアル遺伝子工学 第3版	村松正実	丸善
12位	11	いま、会いにゆきます	市川拓司	小学館
	"	もっと、生きたい…	Yoshi	スターツ出版
	"	有機化学のためのスペクトル解析法	M. Hesse	化学同人
	"	最新電子部品ハンドブック	日本電子機械工業会	電波新聞社
	"	技能ボックス 増補改訂版 4 フライス盤のダンド!	技能士の友編集部	大河出版
	"	よくわかる溶接溶断作業法 実用機械工学文庫	栗林十四正	理工学社
	"	図解NC工作機械の入門	山岸正謙	東京電機大学出版局
	"	旋盤作業 技能と訓練	為谷誠八	日刊工業新聞社
	"	絵とき水理学	國澤正和	オーム社
	"	溶接作業読本 改訂新版	渡辺正紀	日刊工業新聞社

読書の楽しみ

渡部美紀子 (コミュニケーション情報学科 講師)

学問には入門書が必ずあって、分かりやすく書かれたもの、とっつきやすいようにカラフルな図を多用して書かれたもの、新書版のように、とにかく薄く仕上げられたもの、など様々です。いずれもあくまでも入門書であって、残念ながら入門書は冊数をいくら重ねてもそれ以上知識が広がることはありません。どの分野でも、もっと深く知りたければ、頭を抱えながら、少しずつ難しい本に挑戦していかなくてはならないようです。それでも最初の入門書は大事ですよ。

私の専攻である会計学にもあまた入門書はありますが、ちょっと変わった系統の本をご紹介します。

ライブドアや村上ファンドの事件が世を騒がせたとき、そういえば昔、現役東大生が金融業を起こし、一般大衆からたくさんのお金を集めて結局は破綻した、「光クラブ事件」というのがあったことを思い出しました。50年以上も前の事件ですが、今日との奇妙な類似性を感じさせます。最近TVドラマ化されたので御覧になった方もいるかもしれません。

この「光クラブ事件」を題材にして書かれた小説があります。一つは三島由紀夫の『青の時代』(新潮文庫)、もう一つは高木彬光の『白昼の死角』(光文社文庫)です。『青の時代』は、事件の中心人物が三島の同窓生であったことが興味を引きます。200ページほどの読みやすい分量です。また、『白昼の死角』のほうはさらにこの事件を膨らませたフィクションで、もちろん単なる物語としてもたっぷりとした読み応えがあると思います。世の中のお金の動きが少し分かる気がします。

人に薦められて読むのも良いけれど、自分で本と出会うのはまた格別の楽しみです。図書館や本屋さんで足繁く通ううちに、自らの手が引きよせられるように手に取り、一見してこれだ、と思う本に出会うことがたまにあります。探していた専門書だったり、その作家の本をすべて読みたいくなるような始めの一冊だったり、とにかく、そういう時は背中がすうっとするような感覚があります。

皆さんも是非、そんなすうっとする感覚を味わってみてください。



三島 由紀夫 青の時代 (文庫) 新潮社 ASIN: 4101050201
高木 彬光 白昼の死角 (文庫) 角川書店 ASIN: 4041338255



真説 光クラブ事件
保阪 正康 出版社: 角川書店 ASIN: 4048837788

平成17年度の利用状況

17年度1年間に図書館の入館者数は48731名でした。この人達が8000冊の本を借り出したという結果が出ています。どのような本が多く読まれていたのかは、7ページに借り出し回数の多かった本を上位20冊を示しました。図書を借りた学生は延べ4000人、借出冊数は7200冊でした。学生数を1000人とすれば、1人あたり図書館から1年間に4回、1冊ずつ本を借りたことになります。

もっと利用してもらえるように図書の内容の見直しなど努力したいと思います。

表 1 図書利用状況

分類	名称	貸出回数
0	総記	106
1	哲学	181
2	歴史	120
3	社会科学	389
4	自然科学	1681
5	技術	3815
6	産業	58
7	芸術	181
8	言語	338
9	文学	1007
	合計	7876

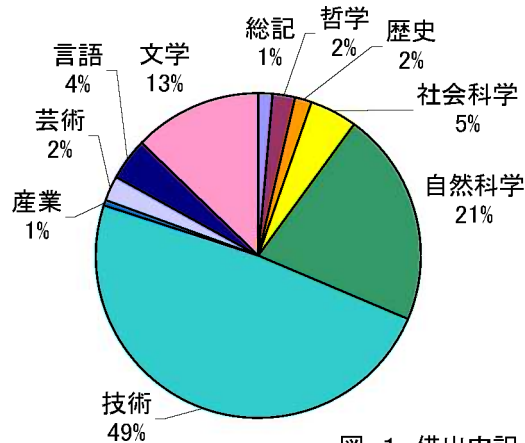


図 1 借出内訳

集計期間: 2005/04/01 ~ 2006/03/31

3. 平成17年度学生利用状況 (学年・学科別貸出冊数)

学 年	本 科					専 攻 科		
	機械	電気	物質	建設	コミ	ME	CK	BC
1年	126	48	43	12	73	33	97	32
2年	603	177	125	32	81	39	54	16
3年	310	325	346	56	46			
4年	531	577	1041	491	301			
5年	226	539	167	265	346			
合計	1796	1666	1722	856	847	72	151	48

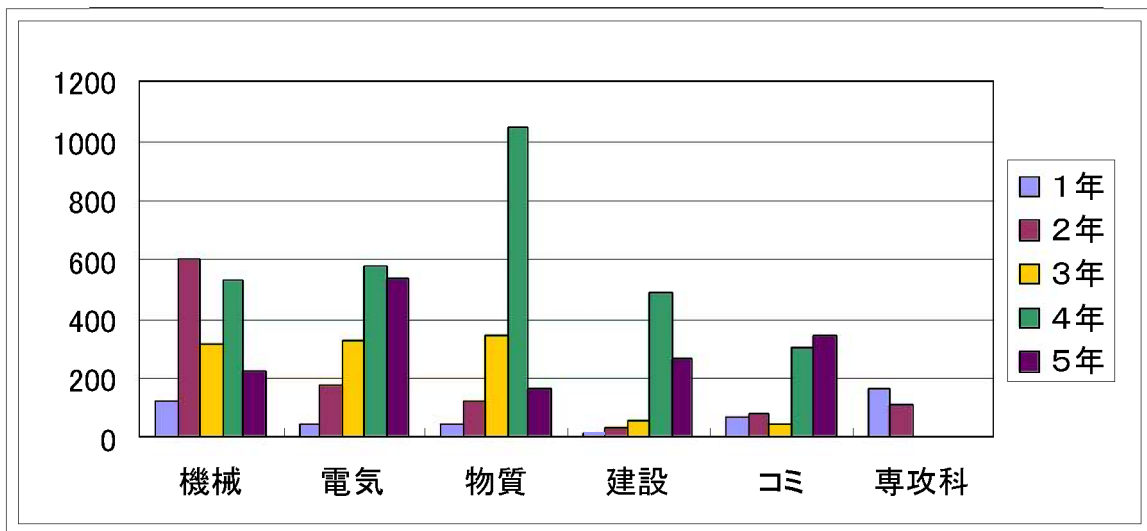


図 2 平成17年度 図書利用状況

おすすめの1冊

学生編

『すべてが E になる』

大澤昇平 (電気工学科4年)

人間は生物です。生物は成長します。オタマジャクシがカエルに成長する過程で失われる尻尾のように、子供が大人に成長する過程で、ほとんどの人間が失ってしまうものがあります。それは、「ありのままの自分」です。

周囲との調和を意識すれば、当然、自分の振る舞いは制限されます。周囲の価値観に合わせるために、人間は少しずつ、自分の価値観を調整します。こうして、「ありのままの自分」を失っていくのです。でも逆に、そんな「ありのままの自分」を、大人になるまで頑なに守り通したら、どんな人間になると思いますか？答えは、この本に書かれています。

『すべてがEになる』を綴った森博嗣は、当時、国立大学工学部の助教授でした。でも、それだけでは彼の魅力にはなりません。彼は同時に、著名なミステリー作家でもあったのです。つまり、本業は助教授、副業は作家ということです。もちろん、言うなれば二足のわらじ、忙しくないはずがありません。ところが、驚くべきことに、そんな多忙な毎日の中でも、彼は普通の人以上に自分の趣味を満喫していたのです。

そのトリックは、実に単純明快。彼には必要がない限り、楽しくないことはしないのです。食事は1日1回5分、風呂は15分ですし、社会的な俗事にもほとんど参加しません。そうすることで、半ば強引に自分の時間を確保しているのです。このことについて、1月27日の日記で、彼は次のように語っています。

「森先生、暇ですね」とかよく言われますけど、ええ、結構暇ですよ（これ書

いてるのが証拠）。

（中略）森よりも忙しい人は世の中沢山います。だって、仕事の合間にスキーしたり、毎晩わざわざ町へ出てお酒飲んだりね…、ほんと忙しそうだ（笑）。森は忙しいのが嫌いなので、あまりそういう余分なことはしたくない方なんです。のんびりいきましょう。

もちろん、スキーも飲み会も、楽しくないはずがありません。恐らく、彼もこれらの楽しさは理解しています。ところが、それをしている人を「忙しい」と皮肉っていることは、彼自身、これらを相対的に無価値なものとして判断している証拠でしょう。でも、彼がそう考える理由は、この本の中で徐々に明らかになります。彼に言わせれば、こういった俗事は、「自分の趣味に比べれば」楽しくないのです。それが彼の価値観です。

そんな彼の趣味は、工作です。作るものもプラモデルから絵、あるいは小説に至るまで幅広いですが、中でも模型列車の話は有名です。彼はこういった類の工作がとても好きで、書斎一つが作ったもので埋め尽くさしてしまうほどです。さらに、彼の庭には模型列車が実際に走っています。この列車には実際に乗ることもできるらしく、「今日はこの車両を作った」とか、「今日はこんな作家が乗りに来た」なんてことがこの本に綴られています。

このように、可能な時間をすべて工作に注ぎ込んでいる彼ですが、これでは「ひょっとして社交性がないだけじゃないか」と疑われても仕方ありません。でも、実のところはそうでもないのです。彼は人付き合いこそ悪いものの、仲の良い作家は沢山いますし、学生からもとても慕われています。それは、彼

の作った模型列車に乗るために、作家がわざわざ彼の家を訪れることから明らかです。彼は、自分をしっかりと持つことで、それを周囲に価値として認めさせるので、それが結果的に調和へと繋がります。事実、この本を読めば、あなたも自分の価値観が180°回転するほどの納得を得ることができるに違いありません。どこの誰とも似ていない、「ありのままの人間」が、ここにはあります。

周囲との調和を意識すれば、当然、自分の

振る舞いは制限されます。しかし、それはあくまで自分の外側に関する話。周囲の価値観に合わせるために、自分の内側、即ち価値観まで変える必要は全くないのです。森博嗣はこれに気付いた数少ない人間であり、彼はその信念を頑なに守り通したからこそ、今こうして「ありのままの自分」を読者の前にさらけ出しているのです。

森 博嗣 すべてがEになる 幻冬舎 ASIN: 4877283552



村山尚子 (コミュニケーション情報学科 5年)

「ただの私 (あたし)」 オノ・ヨーコ 講談社 ASIN: 4061847503

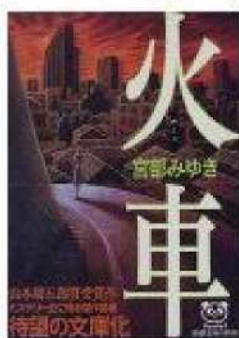


オノ・ヨーコが自身の人生について赤裸々に語った一冊。彼女の幼少時からの家庭環境や、亡き夫ジョン・レノンとの明かされなかった関係についてまでもが、彼女のことばのまま、載せられている。彼女のアートへの精神にとどまらず、女性として、一人の人間としてどう生きるのか、という彼女の人生哲学にちょっと触れたような気持ちになれる、ボリューム満点な一冊。同じく講談社からの出版で『グレープフルーツ・ジュース』という彼女の詩をつづった作品も読みごたえあり。



丹野知世 (コミュニケーション情報学科 5年)

「火車」 宮部みゆき 新潮社 ISBN : 4-10-136918-6



現在公開中の映画「ブレイブ・ストーリー」の原作でもある宮部みゆきのミステリー。休職中の刑事本間俊介は遠縁の男性に頼まれて、失踪した婚約者、関根彰子を探すことになる。彼女は自らの意志で失踪し、しかも徹底的に足取りを消していた。ミステリーでありながら経済小説でもあり、現代社会の暗部を描き出した傑作。

他の著作としては、「ブレイブ・ストーリー」、「模倣犯」、「理由」、「レベル7」、「ステップファザー・ステップ」、「魔術はささやく」がオススメです。



私のお薦め本 2 冊

鈴木 由実 (図書館 司書)

「海からの贈り物」

悩んだとき。気持ちがクシャクシャしたとき。そんな時海辺に一人でいると心が洗われたようになる。こんな経験はあるだろうか。海は余分なものを省略させ、私たちにシンプルであることの大切さを気づかせてくれる。「海からの贈り物」という著書は、著者であるリンドバーグ夫人が、家庭も仕事も離れて2週間ほど離島で過ごしすうちに発見したこと、振り返ったことが書かれたエッセイである。

この著書も、海辺で一人で過ごす時間と同様に「シンプルであること」「欲張らないこと」を気づかせてくれる。たとえば、「貝の美しさを見るにはたくさんの貝を集めるのではなく幾つかの貝で十分だ」というくだりや「貝殻を探そうと躍起になって浜辺を歩いている間は何も見つからず、欲を持たずに歩いていると思わぬ拾いものをする。」という文章である。「シンプルであること」は人生を生きやすくするための一つの知恵だと思う。この本は、単に一人の主婦のエッセイにとどまらず、読み方によっては生きてくうえの人生訓や哲学を読み取ることが可能な懐の広さがある本である。

そのほかこの本で著者は、人生の諸段階における人間のあり方を浜辺で見つけた貝殻に重ねて語っている。たとえば、「日の出貝」を恋人から新婚時代のカップル、「牡蠣」を家庭の切り盛りと社会と結びついて生きていくことに奮闘する結婚後の夫婦の姿、「たこぶね」を中年以降の夫婦、といった具合である。この本はこれから経験するであろう人生の段階でどんな問題に突き当たるか、経験豊かな先輩のように静かに語ってくれる。

懐の広い本は、経験を経て後に改めて読み返すと、以前読んだときとは違う読み方や楽しみ方ができるものである。この「海からの贈り物」も、人生の各段階で読み返すたびにその時々で違ったヒントを与えてくれる著書であろう。

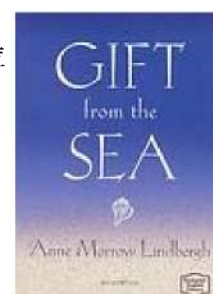
「海からの贈り物」 リンドバーグ夫人 著

吉田健一訳 新潮文庫 ISBN : 4-10-204601-1



※ リンドバーグ夫人とは、大西洋横断飛行に最初に成功したので有名なリンドバーグ大佐の妻です。彼女自身も女流飛行家として活躍し、世界大戦の後にはヨーロッパに渡って罹災民の救援事業を行ったり、戦災を受けた各国の状況について報告書を出したりとキャリアウーマンの先駆的な女性でした。さらに本書を読むと、仕事の傍ら5人の子供を育てあげていることがわかります。まさにスーパーウーマン！。

※※本書は本校図書館の「新書・文庫コーナー」にあります。また、この本は、ちょうど1年前に新潮社から新しい刷りの文庫が出版されています。こちらの文庫本のほうが字も大きく、漢字に読み仮名もふってあるので読みやすくなっています。



「N・P」 吉本ばなな著 角川書店

まずはこの本の表紙絵を見ていただきたい。遠近感があいまいな青いトーンのこの絵には金魚鉢を抱えた3人の女性がいる。そして背景の窓の外には濃い藍色の夜空が広がっている。この静かで謎めいた雰囲気のある絵は、「N・P」という小説の世界を象徴するような絵だ。この物語は、高瀬皿尾という作家がアメリカで残した小説「N・P」のをめぐり、「N・P」の98話を翻訳中に自殺した翻訳家庄司の恋人であった主人公の風美、高瀬の子供である咲と乙彦、高瀬の腹違いの子供である箕輪すいを中心に展開する。

この物語で個人的に気に入っているのは、夏の雰囲気である。それも真夏の夕暮れから夜にかけての薄明るい闇の雰囲気である。夏の夜というものは、けだるさと湿り気を含みながらも、特別なことが起きそうな予感を孕んでいる。それはこの物語全体を包むトーンそのものでもあろう。

この物語で、夏の夜に乙彦と風見が路上で腰を下ろし生ビールと缶詰のつまみを食すシーンや、庄司の住んでいたアパートの屋上ですいと風見がワインを飲むシーンは、青春時代だけの1ページようで甘酸っぱい気持ちになる。

物語は、箕輪すいが乙彦との6年間の恋愛関係を断ち切り意外な決断を下したところで終盤を迎える。ラストの海岸の焚き火のシーンを読み終えた後には、各々の登場人物が自分自身の抱える欠落感などを許されたような開放感とともに、ひと夏に起こった出来事全てををいとおしむ気持ち、もしくは鮮烈な夏が遠くのものになってしまう寂しさが残る。

夏の終わりにぴったりの小説だ。

※この本は本校図書館の(913.6/Y)にあります。本館では、吉本ばななの著作はこのほかにも「キッチン」「TSUGUMI」などたくさん所蔵しています。

吉本 ばなな N・P 角川書店 ASIN: 404180003X



図書館の雑誌について



nature 読みませんか？

予算の見直しなどで購入中止となる雑誌が増え、閲覧室の雑誌用書架には空きが目立っていました。

苦しい中ではありますが、図書館におきたい情報源として「科学雑誌」、その中でも世界中で読まれている“nature”を選び、みなさんに読んでもらおうということになり、7月分から配架を開始しました。日本語の抄録が付いています。

授業やゼミなどでもご活用下さい。

図書館の夏休み

「アスベスト除去工事」がまもなく始まります。図書館も夏休みを取る形となります。利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、安全性確保のためですので、ご了承下さい。

工事終了後の9月25日(月)から開館する予定です。よろしくお祈りします。

夏休みの特別貸し出し

8月4日までとなりました。(工事に伴い変更しました。)
返却は9月25日となります。

最新情報はHPでご確認下さい。http://www.fukushima-nct.ac.jp/welfare/lib/lib-j.html

平成18年度学生図書委員名簿

	1年		2年		3年	
機	東海林 創	小林 大	大金 祐哉	菅野 佳祐	小松 綾	矢羽々 雅典
電	佐久間 淳	鈴木 勇介	佐藤 康太	吉田 拓実	早乙女 亮司	鈴木 強志
物	勝沼 将人	横田 愛梨	植田 友美	岡野 沙也佳	鴨 陽一	佐々木 翔悟
建	伊藤 勲信	眞山 佳幸	遠藤 紗織	若松 美沙紀	石川 周	手塚 浩規
コ	田崎 亜季	森下 涼子	草野 奈都美	堀 夏実	鈴木 友理枝	永山 友美
	4年		5年			
機	大槻 雄一	藤本 嵩	伊藤 正泰	橋本 泰佑		
電	大澤 昇平	渡邊 弘貴	若松 真哉	樋田 雄士		
物	薄葉 愛美	加藤さくらこ	上野 勝也	高木 宏哲		
建	押鐘 敬之	鈴木 潤	成田 亜衣子	橋本 壮史		
コ	小野 誠子	永田 瑠実	小野 あずさ	宋倉 昭雄		

今年度の学生図書委員の名簿です。クラスと図書館をつなぐパイプ役として、活動してください。 お願いします。

お願い より良い図書館にするために

・この本が欲しいと思ったら、その本の情報(書名、出版社など)をリクエストボックスに入れて下さい。

・必要な本が見つからないとき、図書館カウンターまでご相談下さい。

・どんな本を調べればいいのかわからないときも、図書館カウンターにご相談下さい。

要望や質問は図書館を育てます。必要な情報を提供できるように、いろいろな面で快適な図書館をめざしてPDCを実行中です。よろしくお祈りします。

編集後記

・お忙しい中、原稿をお寄せいただきました皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

・居心地の良い図書館、必要な情報が手に入る図書館……「良い」図書館をめざして、様々な取り組みを行っています。

・通算101号、発行するたびに新たな気持ちになるのですが、桁上がり、キリ番、そして、文字どおりの1という数字に「プチ感動」です。

・原稿が集まればすぐ発行できるという計画に無理があることを痛感するのは、学習効果が低いつてことなのか、試験時に聞こえる「反省」の声と重なるものを……次は早く出せるようにしたいと思います。ごめんなさい。

・家でやりますと持って帰ったのですが、家のパソコンではファイルが開けないということがわかりました。何もできずにファイルは往復50kmの旅をしました。orz

・ハードディスクは壊れるからと、大事なデータはUSBメモリに入れて持ち歩くようにしています。しかし、先日、その大切なメモリを洗濯してしまいました。風呂の残り湯に5時間、洗剤中に1時間、乾燥5時間。もう、ダメだよなと思いながらもパソコンに、まあ、これは何とどうことでしょう。見事に全部のデータが残っていました。「ありがとう」とPCの画面に向かって話していました。結局、セキュリティは「人」ってことです。よくわかりました。

